

# 創立100周年 新たな100年に向け

堀切功章キッコーマン社長 — 北畑隆生100年経営の会会長

## 「100年経営」大いに語る

100年経営の会は堀切功章キッコーマン社長を迎え、北畑隆生会長との「100年経営を大いに語る」と題した対談を開催した。同会の中核メンバーで、江戸時代からしよゆめを語り続け、今年会社創立100周年を迎えたキッコーマンの不变のモノづくり精神や経営理念と、次の100年に向けた抱負を堀切社長が語り、北畑会長がさまざまな困難を乗り越えてきた老舗企業の功績をたたえ、長寿企業の精神に学び、発信することの重要性を説いた。

**北畑** 本年創立100周年を迎えられること、おめでとうございます。探究するということがあります。キッコーマンは、お客様を第一に、時代から語り続けて、地域と共に歩んで来たのは、創業当時から、食に携わる企業として、食文化の国際交流を進めるなど、社会貢献の面でも、化の国際交流を進める使命があると感じています。

**堀切** 基本的な理念と、



堀切功章社長(左)と北畑隆生会長(右)。

**北畑** 堀切社長は創業家の出身で、幼少から事業を間近に見てきた。なせ野田などという頃から事業を間近にみてきた。なせ野田などという頃から事業を間近にみてきた。

大規模な労働争議があったが、その際古い労働関係から新しい関係へと脱皮し、なんのたけでも乗り越えてきた。100年企業に学ぶべきものは多い。研究を進め、指そうと活動している。海外では先ず、日本の自然災害や戦争、経済危機を乗り越えてきた。100年企業に学ぶべきものは多い。研究を進め、指そうと活動している。

「100年経営の会」は、創業100年以上の企業から、長寿企業を輩出した企業や、地域社会に貢献している企業や、海外展開している企業などから構成される。北畑会長は、この会を立ち上げた。この会は、創業100年以上の企業から、長寿企業を輩出した企業や、地域社会に貢献している企業や、海外展開している企業などから構成される。

「100年経営の会」は、創業100年以上の企業から、長寿企業を輩出した企業や、地域社会に貢献している企業や、海外展開している企業などから構成される。

「100年経営の会」は、創業100年以上の企業から、長寿企業を輩出した企業や、地域社会に貢献している企業や、海外展開している企業などから構成される。

### 伝統守る一方革新 北畑氏



**北畑氏** 登壇いただき顧客重視の精神を説いていただき、打ちななる」と想定した。次の手を打ち始め、堀切 欧米など世界でも単に同じ仕事を繰り返しているだけ、必要は人口の伸びが、海外市場への進出を考えた。今考えれば、もう一つ、肉だけでも、肉だけでなく、野菜やアイスクリームまで使ってくる。しようゆめドリンクのように、逆に米国など海外から学ぶことも必要だ。創業100年を迎えるにあたって、海外市場への進出を考えた。今考えれば、もう一つ、肉だけでも、肉だけでなく、野菜やアイスクリームまで使ってくる。しようゆめドリンクのように、逆に米国など海外から学ぶことも必要だ。

### 世界の食文化に貢献 堀切氏



**堀切氏** 北畑 地域性を生かしたモノづくりから革新を兼ね、世界に広がる食文化となってきた。2000年は存続でき、海外展開も進んでいく。海外展開は、経営の現地化に繋がっていく。海外展開は、経営の現地化に繋がっていく。

「100年経営の会」は、創業100年以上の企業から、長寿企業を輩出した企業や、地域社会に貢献している企業や、海外展開している企業などから構成される。

「100年経営の会」は、創業100年以上の企業から、長寿企業を輩出した企業や、地域社会に貢献している企業や、海外展開している企業などから構成される。

「100年経営の会」は、創業100年以上の企業から、長寿企業を輩出した企業や、地域社会に貢献している企業や、海外展開している企業などから構成される。

「100年経営の会」は、創業100年以上の企業から、長寿企業を輩出した企業や、地域社会に貢献している企業や、海外展開している企業などから構成される。

## 100年経営の会

「閉塞感を打開する原動力に」

随時会員企業 募集中 (入会資格は、創業60年以上)

**日本には創業100年以上の企業が2万社以上あります。**

こうした長寿企業の多くは持続的な成長を目指す独自の経営理念を持ち、顧客や従業員、地域社会との結びつきを大切にしています。日刊工業新聞社は2011年に長寿企業に学ぶ「100年経営の会」を立ち上げました。本会の趣旨は多くの危機を乗り越えてきた経営を長寿経営として理論化し情報発信することです。会員企業の歴史から長年培われた日本型経営の優れた点を探っております。

わが国の企業は、多くの経済危機や大規模な災害に見舞われながらも、これらを乗り越えて発展を続けてまいりました。敗戦により壊滅的な打撃を受けたにもかかわらず、奇跡の復興を遂げ、世界第二位の経済大国になるなど、アジアの新興国のモデルとなる経済成長を実現してきました。その原動力となったのは、幾多の試練を乗り越えてきた創業100年を超える長寿企業であり、その経営手法を手本とした新興企業であります。

わが国には、創業100年以上の長寿企業が世界の半数を超える2万5000社以上あるうへ、戦後に誕生した新興企業で創業60年を超える企業は、枚挙にいとまがありません。

これらの企業には、いくつかの共通点があります。長期的な経営視点を持ち、良き伝統を大事にしながらも、環境の変化を先取りし、不断の革新を繰り返してきたこと、短期的な利益よりも長期的な企業の存続を基本とし、何よりも顧客を大事にし、商品のブランドや企業のアイデンティティーを大切にすること、従業員を資産だと考え教育訓練や長期的な雇用に重視すること、株主だけでなく、顧客、従業員、地域社会などのステークホルダーにもバランスよく配慮することなどです。これらは、「日本の経営」と称されることも多いのですが、欧米、アジアのエクセレントカンパニーにも共通するものです。

このような観点から経済産業省と日刊工業新聞社の御支援のもと、2011年10月、「100年経営の会」を結成いたしました。長期的持続的な経営を新たな企業価値として体系化し、国内外に発信することを目的としております。

長期的持続的な経営を実践し、それをめざす企業の交流の場として、経営の向上を図り、ひいては日本経済の新たな成長を実現する原動力となることをめざします。



100年経営の会 会長 (元経済産業省事務次官) 北畑 隆生

### 「長寿経営の価値の普及活動」

#### 活動内容

- 勉強会の定期開催**  
長寿企業たりのための経営手法などを理論的に分析するための勉強会を、アカデミズムとも連携しながら定期的に開催しています。会員企業をはじめとする長寿企業の経営者や研究者らを引き、創業時から現在まで引き継がれている精神(経営理念や哲学、あるいは家訓など)、経営環境変化に対応するためのイノベーション(経営革新や事業転換、技術面での挑戦など)、リスクマネジメント手法、事業継承、地域社会との関わりなどについて、さまざまな角度から見つめ、知的資産経営などをベースに経営論を構築します。一定の調査内容をまとめた段階で、日刊工業新聞紙上で研究成果を報道するほか、経営論としての公表を計画しています。
- 長寿経営の価値の普及活動**  
シンポジウム・フォーラムの開催  
大型のシンポジウムを開催するほか、地方都市でも地方自治体や団体などと協働し、地域密着型のフォーラムを開催します。100年以上持続発展してきた企業から、創業の精神や理念の持続をはじめ、危機克服の経験、環境変化に対するイノベーションなどを学び合い、知的資産経営論をベースに長寿経営の魅力を広く発信します。
- 情報発信事業**  
ホームページの運用で、国内外へ長寿経営の価値を情報発信します。映像化なども取り組み、ホームページなどの情報運用を展開します。また、日刊工業新聞や電子媒体など日刊工業新聞社が有する各種媒体と連動した情報発信も積極的に行います。
- 長寿経営企業の顕彰事業**  
創業100年を超える長寿企業の優れた経営を顕彰します。国や各種機関の協力を得て、全国各地のさまざまな業種・規模の企業の経営理念や業績などを分析し、内外に発信します。
- 海外の長寿企業や団体などとの連携**  
海外の長寿企業の経営を調査・分析するほか、類似の団体との連携関係の構築を進めます。
- 工場見学会などの会員企業の訪問**  
各地の会員企業を訪問し、工場などを見学するほか、経営についてのディスカッションを行います。

**「100年経営の会」に関するお問い合わせ・お申し込み先**

日刊工業新聞社 100年経営の会事務局 TEL 03-5644-7608  
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (日刊工業新聞社内) FAX 03-5644-7209

100年経営の会 [検索](#)